

令和8年度 第1回 四條畷市下水道事業経営審議会資料

「令和7年度決算状況について」

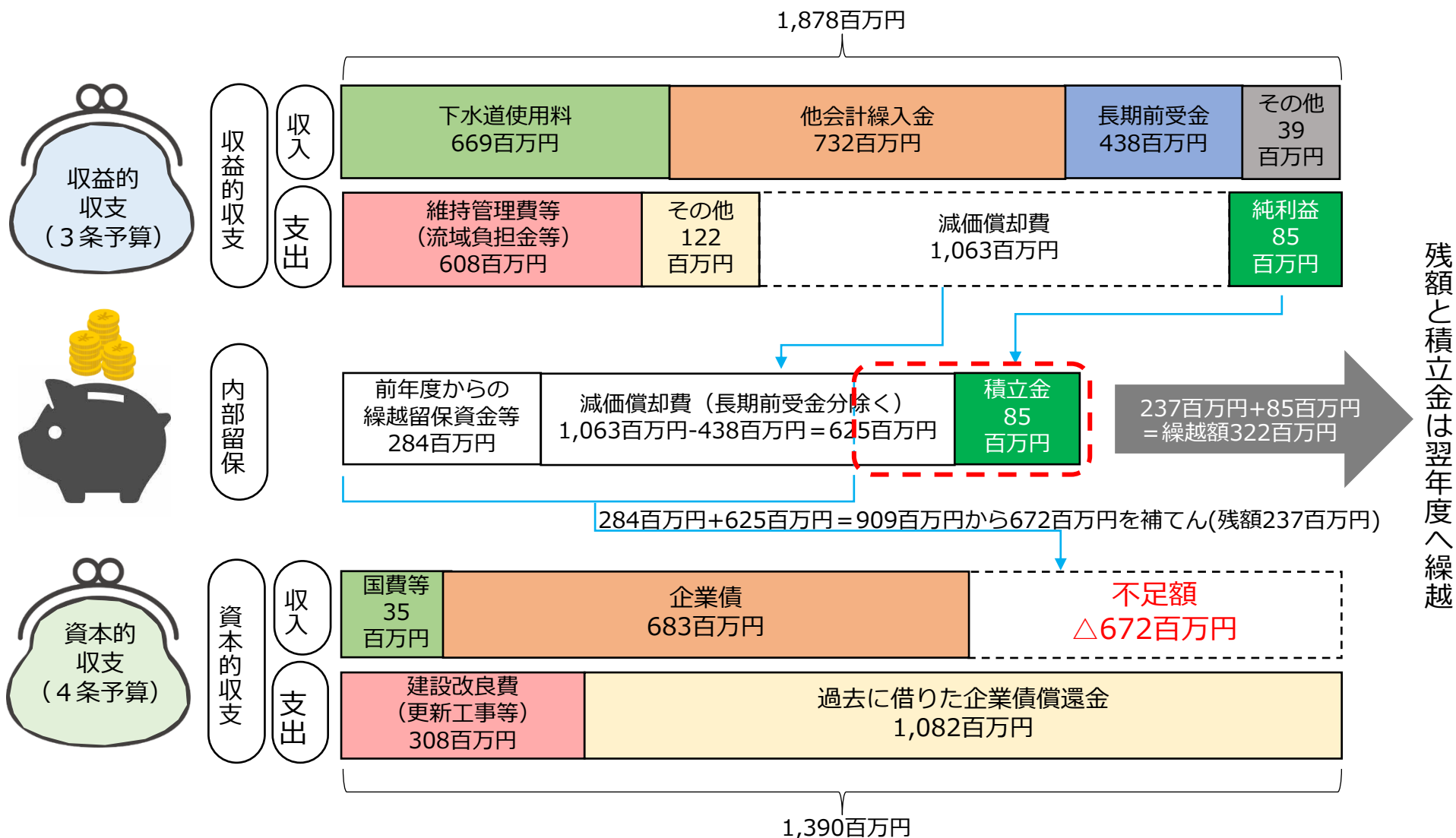
令和8年9月18日(金)

目 次

- (1) 下水道事業会計の収支イメージについて
- (2) 人口と使用料
- (3) 収益的収入（税抜き）
- (4) 収益的支出（税抜き）
- (5) 収益的収支（税抜き）
- (6) 経常収支比率及び経費回収率
- (7) 資本的収支（税込み）
- (8) 現金預金残高と企業債残高
- (9) 令和8年度当初予算について

1. 令和7年度決算状況について

(1) 下水道事業会計の収支イメージについて



1. 令和7年度決算状況について

(2) 人口と使用料

	R7	経営戦略 R7	増 減	増減率	(参 考) R6
行政区域内人口	53,392人	53,350人	42人	0.08%	53,675人
下水道使用料	669百万円	679百万円	△10百万円	△1.47%	668百万円

○ 行政区域内人口について

国立社会保障・人口問題研究所（社人研）の減少率から算出した経営戦略の想定人口からは42人多い結果となったものの、前年度比較では283人の減少。

○ 下水道使用料について

人口は想定を上回ったものの、環境センターの有収水量の減少等により10百万円下回る結果となった。

前年度比較では、R6水道センター検針日変更に伴う算定期間の短縮（△5日）の解消に加え、大口の複合商業施設の使用量が増加したことにより1百万円の増加となった。

1. 令和7年度決算状況について

(3) 収益的収入（税抜き）

	R7 (百万円)	経営戦略 R7 (百万円)	増 減 (百万円)	増減率 (%)	(参 考) R6 (百万円)
収益的収入	1,848	1,895	△47	△2.48	1,902
下水道使用料	669	679	△10	△1.47	668
他会計繰入金	732	770	△38	△4.94	779
長期前受金戻入	438	438	0	0.00	439
その他	9	8	1	12.50	16

経営戦略の想定に対して、下水道使用料の減少に加え、支出減少に伴う他会計繰入金の減少により、収益的収入全体で47百万円（2.48%）の減額となった。

1. 令和7年度決算状況について

(4) 収益的支出（税抜き）

	R7 (百万円)	経営戦略 R7 (百万円)	増 減 (百万円)	増減率 (%)	(参 考) R6 (百万円)
収益的支出	1,793	1,847	△54	△2.92	1,850
減価償却費	1,063	1,075	△12	△1.12	1,063
流域維持管理負担金	450	486	△36	△7.41	467
その他（人件費・経費）	158	161	△3	△1.86	190
その他（支払利息等）	122	125	△3	△2.40	130

経営戦略の想定に対して、流域維持管理負担金や減価償却費が減少したことから、収益的支出全体で54百万円（2.92%）の減額となった。

なお、流域維持管理負担金の総額（各市按分前）については増加傾向にあるものの、R7からの負担割合の見直しにより、本市の負担額としては微減となった。

1. 令和7年度決算状況について

(5) 収益的収支（税抜き）

	R7 (百万円)	経営戦略 R7 (百万円)	増 減 (百万円)	増減率 (%)	(参 考) R6 (百万円)
収益的収入	1,848	1,895	△47	△2.48	1,902
収益的支出	1,793	1,847	△54	△2.92	1,850
特別利益	30	13	17	130.77	60
当年度純利益	85	61	24	39.34	112

○ 特別利益

流域下水道維持管理負担金の返還額が増加したことから、経営戦略想定値を17百万円上回った。

○ 当年度純利益の算出

$$\begin{aligned} (\text{収益的収入}) - (\text{収益的支出}) + (\text{特別利益}) &= 1,848 - 1,793 + 30 \\ &= 85 \text{ (百万円)} \end{aligned}$$

以上の結果より、当年度純利益は24百万円（39.34%）増の85百万円となった。

1. 令和7年度決算状況について

(6) 経常収支比率及び経費回収率

	R7 (%)	経営戦略 R7 (%)	増減 (%)	(参考) R6 (%)
経常収支比率	103.1	102.6	0.5	102.8
経費回収率	107.3	106.2	1.1	105.6

経常収支比率

指標の意味	使用料収入や繰入金等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用が賄えているか
計算式	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$

R7決算と経営戦略の比較の結果。

収益的収入：△47百万円減

収益的支出：△54百万円減



支出の減少額が、収入の減少額より大きい。



経常収支比率、経費回収率ともに
経営戦略の想定を上回る結果となった。

経費回収率

指標の意味	使用料収入で回収すべき経費を、どの程度使用料で賄えているか（使用料水準を評価する指標）
計算式	$\frac{\text{下水道使用料}}{\text{污水处理費（公費負担除く）}} \times 100$

1. 令和7年度決算状況について

(7) 資本的収支（税込み）

	R7 (百万円)	経営戦略 R7 (百万円)	増 減 (百万円)	増減率 (%)	(参 考) R6 (百万円)
資本的収入	718	721	△3	△0.42	1,032
国庫補助金	33	65	△32	△49.23	23
企業債	683	653	30	4.59	1,008
その他	2	3	△1	△33.33	1
資本的支出	1,390	1,385	5	0.36	1,676
建設改良費	308	305	3	0.98	264
うち 建設事業費	126	191	△65	△34.03	76
うち 流域建設負担金	182	114	68	59.65	188
企業債償還金	1,082	1,080	2	0.19	1,412
不足額	672	664	8	1.20	644

国庫補助金が減額になったことに伴い、建設事業費も減額となった。

流域建設負担金は大幅な増額となり、それに伴い企業債発行額は増加した。

1. 令和7年度決算状況について

(8) 現金預金残高と企業債残高①

	R7 (百万円)	経営戦略 R7 (百万円)	増 減 (百万円)	増減率 (%)	(参 考) R6 (百万円)
現金預金残高	448	486	△38	△7.82	350

経営戦略の想定に対して、未払金が減少し未収金が増加したため、残高が減少した。
(支払および収納時期が年度内かの違いであり、実際の現金は増加傾向。)

	R7 (百万円)	経営戦略 R7 (百万円)	増 減 (百万円)	増減率 (%)	(参 考) R6 (百万円)
企業債残高	9,756	9,700	56	0.58	10,154

流域建設負担金の財源として発行した企業債の増加等により想定よりも多くなった。
(資本費平準化債も含め、企業債は発行可能額全額を起債しています。)

1. 令和7年度決算状況について

(8) 現金預金残高と企業債残高② (参考 企業債残高対事業規模比率)

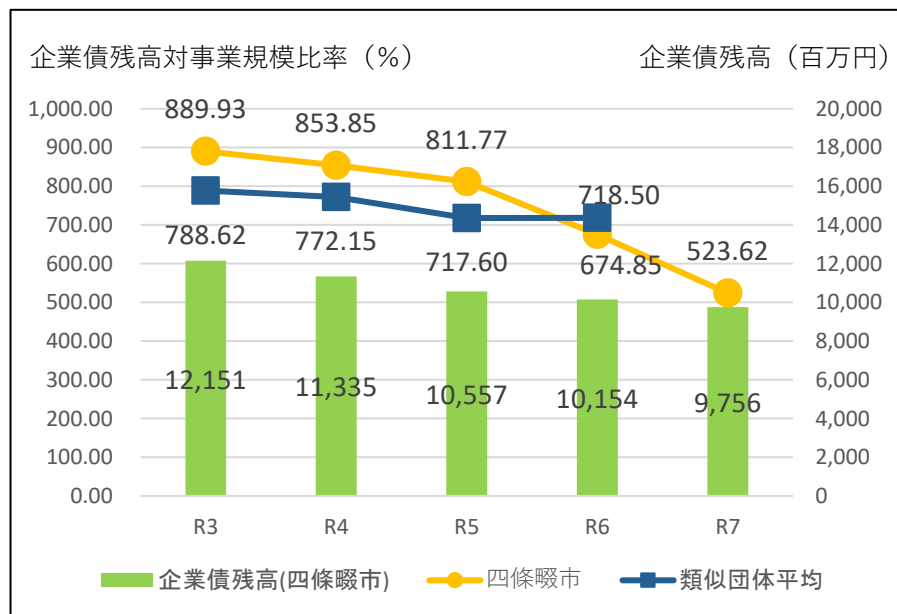
参考：企業債残高対事業規模比率

使用料収入に対する企業債残高の割合を表す指標です。 **比率が低いほど良好。**

企業債残高の減少等に伴い、令和6年度は類似団体より低くなりました。

〈 算出式 〉

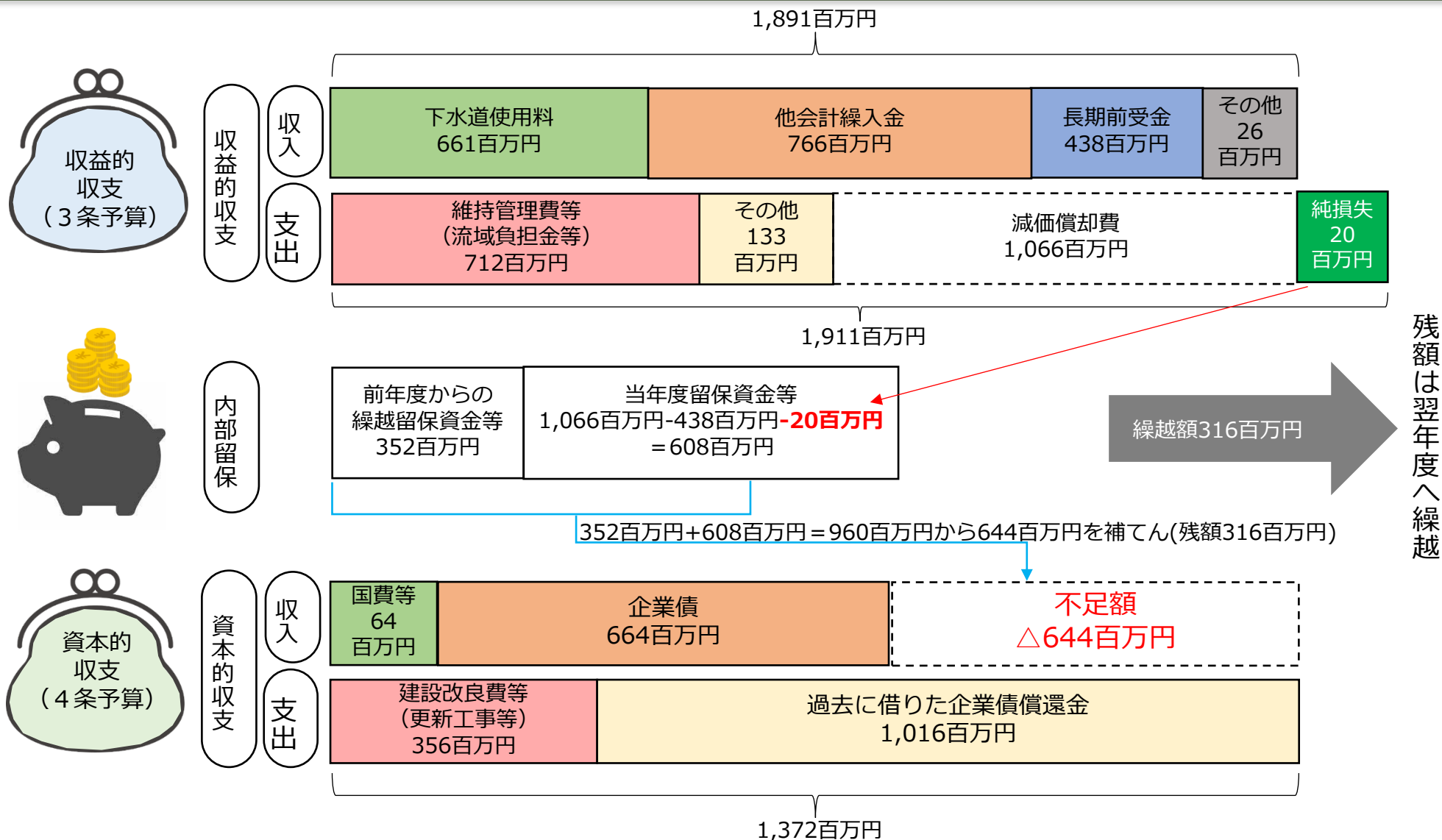
$$(\text{企業債現在高} - \text{うち一般会計負担分}) \div (\text{営業収益} - \text{雨水処理負担金}) \times 100 \quad [\text{単位 } \%]$$



	R3	R4	R5	R6	R7
企業債残高 (百万円)	12,151	11,335	10,557	10,154	9,756
四條畷市比率 (%)	889.93	853.85	811.77	674.85	523.62
類似団体平均比率 (%) ※ 公共下水道事業	788.62	772.15	717.60	718.50	未公表

1. 令和7年度決算状況について

(9) 令和8年度当初予算について① (収支イメージ)



1. 令和7年度決算状況について

(9) 令和8年度当初予算について②（参考 当初予算 直近5年比較）

参考：R4～R8 収益的収入および支出当初予算

	R4 予算 (百万円)	R5 予算 (百万円)	R6 予算 (百万円)	R7 予算 (百万円)	R8 予算 (百万円)
収益的収入	1,924	1,965	1,901	1,862	1,880
下水道使用料	678	680	670	669	661
他会計繰入金	783	814	776	746	766
長期前受金戻入	445	444	438	438	438
その他	18	27	17	9	15
収益的支出	1,847	1,957	1,889	1,853	1,911
減価償却費	1,067	1,065	1,062	1,063	1,066
流域維持管理負担金	419	514	470	467	505
その他（人件費・経費）	194	227	225	195	207
その他（支払利息等）	167	151	132	128	133
特別利益	0	0	0	0	11
特別損失	0	0	0	0	0
当年度純利益	77	8	12	9	△20

1. 令和7年度決算状況について

(9) 令和8年度当初予算について③（参考 当初予算 直近5年比較）

参考：R4～R8 資本的収入および支出当初予算

	R4 予算 (百万円)	R5 予算 (百万円)	R6 予算 (百万円)	R7 予算 (百万円)	R8 予算 (百万円)
資本的収入	623	575	1,029	745	728
国庫補助金	13	14	22	50	60
企業債	417	357	1,003	691	664
その他	193	204	4	4	4
資本的支出	1,435	1,386	1,673	1,377	1,372
建設改良費	242	241	261	295	356
うち 建設事業費	117	76	94	169	179
うち 流域建設負担金	124	164	166	125	176
企業債償還金	1,193	1,145	1,412	1,082	1,016
不足額	812	811	644	632	644